

第30回生駒市総合教育会議 会議録

1 日 時 令和6年2月26日（月） 午前9時15分～午前10時40分

2 場 所 生駒市役所 大会議室

3 協議事項

(1) 生駒南小学校・生駒南中学校整備事業基本構想について

(2) 第3次生駒市教育大綱の策定について

4 市側出席者

市 長 小 紫 雅 史

副市長 山 本 昇

5 教育委員会側出席者

教育長 原 井 葉 子

委 員（教育長職務代理者） 飯 島 敏 文 委 員 レイノルズあい

委 員 中 川 義 三 委 員 吉 尾 典 子

6 事務局職員出席者

教育こども部長	鍬 田 明 年	生涯学習部長	八 重 史 子
教育こども部次長	松 田 悟	教育総務課長	山 本 英 樹
教育総務課課長	松 本 芳 樹	教育指導課長	花 山 浩 一
幼保こども園課長	大 畑 勝 士	幼保こども園課指導主事	湯 川 祐美子
幼保こども園課指導主事	喜 多 美枝子	こども総務課長	武 元 一 真
子育て支援総合センター所長	角 井 智 穂	生涯学習課長	清 水 紀 子
図書館長	西 野 貴 子	図書館課課長	錦 好 見
スポーツ振興課長	西 政 仁	教育総務課課長補佐	桐 坂 昇 司
教育指導課課長補佐	中 田 博 久	教育政策室長	日 高 興 人
幼保こども園課課長補佐	小 林 奈津子	こどもサポートセンター所長	若 狹 美登里
生涯学習課課長補佐	井 川 啓一郎	図書館南分館長	谷 江 真美子
スポーツ振興課課長補佐	大 畑 由 紀	教育政策室（書記）	三 室 哲 哉
教育政策室（書記）	松 田 美奈子	教育政策室（書記）	杉 山 史 哲

7 傍聴者 8名

午前9時15分 開会

○開会宣告

○市長挨拶

小紫市長：本日は第3次生駒市教育大綱の議論の大詰めとなる。言い残したことがないようご意見をいただきたい。

また、生駒南小学校・生駒南中学校の基本構想についての報告後、意見交換も行う。第3次生駒市教育大綱で決めた大きな方向性を場として具体化していくという意味で、生駒南小学校、生駒南中学校の事業は大変重要であり、また連動して進めていくことが大切だと考える。こちらについても、ご意見をいただきたい。

○協議事項

(1) 生駒南小学校・生駒南中学校整備事業基本構想について

・基本計画案を教育総務課山本課長から説明【資料1】

小紫市長：基本構想の説明について、何かご質問等ないか。

レイノルズ委員：前回からの継続事項ということで、18ページ目以降が付け加えられたところかと思う。第3回会議では、夢があふれる意見がたくさん出されたことを嬉しく思い拝見した。新しい学校づくりの視点を最後のページでまとめているが、第3次生駒市教育大綱とも連動して、実際に変化していく学校ができることを大変楽しみにしている。参考までに、会議はどんな雰囲気で行われているのか、懸念点はどのあたりにあるのか、こういった方々が来ていたのか、第1回、2回と同じような方々が来ていたのか等、第3回会議の様子について教えていただきたい。

山本教育総務課長：参加者は3回とも変わりはなく、傍聴もいつも来ていただいている方と変わらない。3回目の会議の冒頭に、会議の進め方について意見があった。今回の構想では建物自体が今後どうなっていくのかを話し合うと認識していた委員がおられたが、実際は学校自体がどうなっていくのかを考える予定であったため、会議に対する認識に齟齬が生じていた。

レイノルズ委員：校舎についてではなく、その前段階として、今後学校でどのような教育を行っていくのかという点をしっかり深掘り出来たことは良かったのではないかと。建物や設備が今後こういった形になっていくのかについては気になっている方もいると思われるので、引き続き説明の機会を設けていただきたい。

原井教育長：地域の方々にとっては先が見通せないことに対する不安がある。基本構想について、委員だけでなく、地域の保護者の方々にも幅広く知ってもらいたいという意見から、3月2日に「未来を考える会議」を開催する。

飯島委員：地域の方々の不安について、例えば小中一貫校や建物や、カリキュラムに対

する不安等、おそらくこういった不安はすぐに解消するものではないだろうと思われる。今まであったものを継承しつつ、新しいものをつくっていくために、地域の方々や保護者、子どもたちとの意見交換をし、共有したものを今後実現に繋げられるよう、意見交換の機会を大切にしていきたい。

吉尾委員：レイノルズ委員がおっしゃっていたように、会議がどのように進んできたかが私も気になる。建物自体よりも、そこでどのような教育が行われるのか、そのことを地域の方々にも理解してもらうことが大切。新しい学校づくりにおける5つの視点は生駒南小学校・生駒南中学校だけでなく、生駒の教育全体に関わることになり、生駒南小学校・生駒南中学校が規範となるだろう。今後の予定が決まっていれば教えていただきたい。

山本教育総務課長：今後の予定については、11ページに全体のスケジュールを記載している。来年度から基本計画を挟み、基本設計に入る。基本計画を策定するにあたっては新たな会議体、地域の方々や子どもたちの意見も必要だと思っている。併せて、建築の専門家にも入っていただく。こういった形で多方面から意見をいただくことを繰り返しながら設計に向かっていく。

吉尾委員：建物に関しては柔軟性を意識し、いつの時代にも合わせられる施設となるよう、アイデアを取り入れていただけるとよいと思う。

小紫市長：1点付け加えると、第3次生駒市教育大綱を具現化するにあたって、今は総論なので夢をどんどん出してもらう時期。現在は最先端でも、10年後はどうなるかも視野に入れ、柔軟性のある建物をつくっていきたい。

中川委員：地域と共にある学校になっていくので、地域の方々への説明や意見交換は今後も続けていただきたい。2つの学校が1つになるということで、効率化されることも増えるだろう。安全面についても考えつつ、地域の方々の気持ちも考慮し、心に残り、繋がりが深くなる学校にしていってほしい。

小紫市長：中身自体に意見がなければ、午後の教育委員会で諮っていただきたい。

(2) 第3次生駒市教育大綱の策定について

- ・前回いただいたご意見を踏まえ、修正した第3次生駒市教育大綱事務局案について
教育政策室日高室長から説明【資料2】【資料2-1】【資料3】【資料4】

小紫市長：この第3次生駒市教育大綱は昨年1月から5回に渡り、色々な方々の意見を聞かせていただいた上で進めてきた。基本的には今回が最終確認ということで予定している。第3次生駒市教育大綱事務局案について、意見をいただきたい。

中川委員：とてもわかりやすく、配慮いただいた修正となった。私が意見を出した7ページ1-1-2は、文科省の表現を参考に探究的な学びに変更していただいた。これにより、各学校が様々な授業を自主的に行っていく上で、子どもたちの探究を中心に組み込んでいくことが示されるようになった。10ページ

の3-3-3は市民と表記することで、範囲を限定せず、広い世代について生駒市はやっていくんだということが分かる形になった。

飯島委員：教育の再定義が自然な表現となった。基本方針の番号をふったことで、全体的に分かりやすくなった。検討していただきたい点が2点ある。1 ページ3 段落目、「整理する」という表現について、「再定義」若しくは「解釈」の方が良いのではないか。3 ページ中程、「最低限の力の獲得保障を達成するためであれば」とあるが、獲得保障という表現は若干すわりが悪いので、「獲得が保障されるのであれば、そのための方法は多様であるべきです」の方が自然ではないか。子どもたちが互いに高め合うための方法の1 つとして「競争」を挙げているが、競争そのものを評価するのではなく、競争を通して相手を尊重しつつ、互いに高め合うという過程が大事であることを明記した方がいいのではないか。

小紫市長：1 つめの「再定義」を「整理」にした点について、事務局の意図はどうか。2 つめの「競争」に対する認識について、事務局から何か意見等あるか。

日高教育政策室長：1 つめの「整理します」については、1 1 月に素案を出した際にも「整理します」になっていた。どこかで「再定義」を「整理」に変えた経緯があった。表現に関してこだわりはないため、意見をいただいて変えることができる。

小紫市長：「整理する」を「再定義する」に変更することに違和感がなければ、修正でいいのではないか。「最低限の力の獲得保障を達成するためには」についても、「獲得を保障する」でよいのではないか。「競争」については、学校現場では良い意味であった方がいいと思うので、最終的に原案に近い形にするか、修正するかを検討したい。

吉尾委員：「競争」について、相手を尊重できればという条件付きになってしまうように思う。

小紫市長：内容は変えずに、書きぶりの変更を考えたい。

小紫市長：最後にパブリックコメントのスケジュールについて事務局から説明をいただきたい。

日高教育政策室長：【資料3】【資料4】について、【資料4】のスケジュールの説明をする。3 月にパブリックコメントの前の議会で報告。3 月25日から4月25日までをパブリックコメントの期間とする。議会とパブリックコメントでのご意見をいただいた上で、第31回総合教育会議で決定となり、6月議会で策定報告をし、1年以上に渡る策定プロセスが終わるということになる。【資料3】は、パブリックコメントについての周知のチラシとなっている。パブリックコメント条例に基づいて手続きを進めていく。様々な公共施設、HP、またすぐーる等でも周知していく。

小紫市長：このスケジュールで進めさせていただく。たくさんの方々から意見をいただ

きたいと考えている。

○閉会宣告

午前 10 時 40 分 閉会